

福島第一原子力発電所の事故収束に向けた取り組み

福島第一原子力発電所における事故発生以来、地域の皆さまに大変なご心配とご迷惑をお掛けしておりますことに、改めて心よりお詫び申し上げます。

4月に発表した事故収束に向けた道筋について進捗状況をお知らせします。

基本的考え方

原子炉と使用済燃料プールの安定的冷却状態を確立し、放射性物質の放出を抑制することで、避難されている方々のご帰宅の実現および国民の皆さまが安心して生活いただけるよう全力で取り組みます。

目標

ステップ1

放射線量が着実に減少傾向
となっている

⇒7月に目標を達成し終了

ステップ2

放射性物質の放出が管理され、
放射線量が大幅に抑えられている

年内に達成すべく
全力で取り組みます

中期的課題（～3年程度）

中期的安全確保に向けた設備運営計画
の策定、安全性評価を実施しました。

課題の取り組み状況

現時点の放射性物質の放出量を評価しました

- ◆ 1～3号機の格納容器からの現時点の放出量は、合計で最大1億ベクレル/時と推定しました。これは、先月の1/2であり、事故時の約800万分の1です。
- ◆ これによる現時点の放出による敷地境界での年間被ばく線量は最大約0.2ミリシーベルト/年となります。



1号機原子炉建屋上部の空気中の放射性物質濃度の測定

原子炉の冷却を継続しています

- ◆ 冷温停止状態の達成に向けて、タービン建屋などにたまっている滞留水を処理し原子炉に注水しています。
- ◆ 原子炉圧力容器底部の温度は
1号機：74℃
2号機：83℃
3号機：73℃（10/17時点）
であり、100℃以下で安定しています。
- ◆ 滞留水の量は目標レベルを維持しています。また、塩分除去装置を増強しました。



塩分除去用蒸発濃縮装置

1号機の原子炉建屋カバーが完成します

- ◆ カバーにより放射性物質の飛散を防ぎます。
- ◆ 1号機は、カバーのパネル設置が完了し、10月末頃完成予定です。
- ◆ 3、4号機は、建屋上部のがれきを取り除いています



工事開始（6月28日）



屋根パネル設置（10月14日）

遮水壁の工事に着手します

- ◆ これまでも海への放射性物質の漏洩対策を実施してきましたが、地下水による海の汚染防止に万全を期すため、遮水壁を設置します。
- ◆ 海側について基本設計が完了し、10月末頃工事に着手する予定です。

